

ジェンダー法政策研究所第4回公開シンポジウム

〔主催〕ジェンダー法政策研究所（GELEPOC）

〔後援〕女性差別撤廃条約実現アクション、国際女性の地位協会、ジェンダー法学会、明治大学ジェンダー法センター

## 「産む権利／産まない権利——リプロダクティブ・ライツの現在（いま）」

令和にはいり、旧優生保護法による強制不妊手術訴訟の判決が陸続する一方、中絶をめぐる、女性の自己決定を否認する条項の存在、避妊ピルや中絶薬の普及の遅れが政治的課題として意識され、生殖補助医療への法的対応が迫られています。

こうした日本社会の現実を踏まえ、本シンポジウムでは、「産む権利／産まない権利——リプロダクティブ・ライツの現在（いま）」に焦点を絞り、三部構成で、リプロダクションをめぐる女性の個人的経験が「政治的問題」であり、規範的な解決が必要であることを明らかにします。

日時 2024年8月4日（日）14時00分～16時30分

ZOOMによるオンライン開催

### プログラム

総合司会 大山礼子（駒澤大学名誉教授）

開会挨拶 辻村みよ子（東北大学名誉教授、弁護士）

#### 第Ⅰ部 リプロダクティブ・ライツの意義と可能性—理論的フレームワーク構築のために

企画趣旨 糠塚康江（東北大学名誉教授）

1. 政治学からのアプローチ 岩本美砂子（三重大学名誉教授）
2. 国際人権法からのアプローチ 林陽子（市川房枝記念会理事長、弁護士）
3. 憲法学からのアプローチ 建石真公子（法政大学名誉教授）

#### 第Ⅱ部 リプロダクティブ・ライツをめぐる日本の現実—各論的問題

企画趣旨 二宮周平（立命館大学名誉教授）

1. 母親になることを強制されない権利  
石黒大貴（熊本中央法律事務所弁護士）
2. 優生思想によるリプロダクティブ・ライツの剥奪  
松原洋子（立命館大学副学長・教授）
3. セクシュアル・マイノリティの家族形成  
長村さと子氏（一般社団法人こどもまっぷ代表理事）

#### 第Ⅲ部：質疑応答

ファシリテーター 大山礼子

閉会

※演題はすべて「仮題」です。

参加費 無料

形式 オンライン（要事前登録、8月2日(金)24時締切、登録フォームはこちらから）

URL：<https://forms.gle/JR4kEvGxhw5gXmq59>

QRコード

参加にはビデオ通話アプリ「Zoom」の事前インストールが必要です。

問い合わせ先 ジェンダー法政策研究所事務局（[info@gelepoc.org](mailto:info@gelepoc.org)）

ジェンダー法政策研究所(GELEPOC)については、<http://www.gelepoc.org> をご覧下さい。

